

## ◆第4回世界イグルー選手権が今年も盛大に開催されました!!

2月7日に第4回世界イグルー選手権が恐羅漢スノーパークで盛大に開催されました。

冬晴れの絶好のコンディションのもと、外国人参加者を含む町内外総勢26チーム、約300名の参加者が熱戦を繰り広げました。

毎年参加しているチームは独自のコスチュームとアイデアで自分たちの思いを表現し、人々に笑顔と感動を与えてくれました。家族で参加されたチームは、家族の絆を十分に発揮して素晴らしいイグルーを制作していました。企業チームや学生チームは、普段培ったチームワークをいかんなく発揮していました。

スキー・スノーボードをしない老若男女に対して『雪』を楽しむプログラムを作り、日本最南端の豪雪地帯および本格的スノーリゾート地である当町の認知度を拡大することで、冬季来訪者層のすそ野拡大を企図して開催していますが、徐々に目的が達せられつつあると手ごたえを感じています。



特に外国人参加者の楽しそうな姿が随所で見られたことが大きな成果であり、真の国際交流に言葉は不要だと言われますが、まさにイグルー選手権がそれを体現しています。

イグルーを作るために、世界中の老若男女が『イグルーの聖地』として当町に訪れる日がやがて来ることを祈念しつつ、大会運営にご協力くださった安田女子大学様、そして大会盛り上げに貢献してくださった町内チームの皆様がこの場をお借りし、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ◆唐津市立第一中学校から『人情田舎・体験民泊』への感謝の手紙が届きました。

当町および北広島町の合同受入れ事業として、1月27日～29日に佐賀県唐津市立第一中学校177名の生徒が来訪し、人情民泊や雪国文化体験、スキー体験を実施しました。

その後、引率責任者の先生から次のような手紙をいただきましたので、町民の皆様を紹介します。

教員生活31年目、こんなに温かく癒され、充実した思いで修学旅行を終えたことは初めてです。日頃見せない生徒達の表情や言動に私たちが気づきや感動をもらい続けた3日間でした。

官民一体となった人情田舎体験推進協議会のリーダーシップに基づいたきめ細かな取組み、技術と経験と広い心でご指導くださったインストラクターの皆様、そして、離れて暮らす孫の来訪を待っていたかのように受け入れてくださった家庭の皆様のおかげです。各家庭を回った時、その温かさに何度胸が熱くなったかわかりません。

退村式の司会をしながら涙ぐむ生徒、見送られて別れた後にバスの中で帰りたくないと思ってしまう生徒、口々に「楽しかった。」「優しすぎて涙が出そうだった。」「あんな美味しいご飯を食べたのは初めて。」「ホテルじゃなくてよかった。」と言っていました。(中略)

保護者からは、「修学旅行から帰ってきたら、機関銃のように楽しかったと話をしてくれました。あんなにしゃべる我が子を見るのは久しぶりでした。」との声が寄せられています。

第一中学校2年生の心に『変化』が生まれたのです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

町民の皆様が『人情』が確かに来訪生徒の心に届き、変化をもたらした『事実』こそ、日本の教育に当町が貢献している大きな証であり、今後は町内の高校の生徒全国募集での具体的成果に繋がっていくことでしょう。さまざまな意味で本事業は日本に誇るべき『社会貢献型ビジネスモデル』なのです。

是非、三方良しの事業である『人情田舎民泊』への町民の皆様のご参加を心からお待ちしています。

